

／ 【目標】 選択した情報源から必要な情報を収集し、自分の考えをまとめる（整理する）。

1 集めた情報を整理しよう。

どこから知ったか。例本

記号	①調べたいこと	②調べたこと（出典・手段）	③考えたこと
----	---------	---------------	--------

A	すし職人の仕事とは	<ul style="list-style-type: none"> ・ご飯を炊く・新しいメニューを開発する・吸い物・茶碗蒸し等準備（○） つてどうするの「▽出版・xx年）」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ昔からの定番ネタを握るだけではなく、お客のニーズに合わせた仕事があることを知った。
---	-----------	---	--

B	すし職人になるには	<ul style="list-style-type: none"> ・特に必要な資格はない。お店に行き入って下積み経験を積む。調理師専門学校に進学する。（▽なるには「xx社・○○年）」 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格はないが知識や技術が必要とすることや、チェーン店や個人経営店など働き方も違いがあることが分かった。
---	-----------	--	--

C	一日の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝3・4時に起床し市場で魚介類を仕入れ、仕込みをする。準備を整えてから開店、閉店後に洗い物や練習をする。（○▽サイト） 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝がとて早くて驚いた。ただ寿司ネタを仕入れるだけではなく、仕込みという作業があつてこそ成り立ちものなのだと初めて分かった。
---	-------	---	--

D	楽しいこと・大変なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・親方に認められ、お客さんに喜ばれたとき。品質を保つためいい魚介類を見分けることと、確実に良い材料を仕入れること。（○寿司に取材） 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々に追われて大変な仕事だが、文化の一つとして誇らしく、多くの人を幸せにできる仕事だと思った。
---	-------------	---	--

E	すし職人に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・実直さ。忍耐力。温故知新で、古き伝統を重んじ、日々、新しいお品を考えていく柔軟性を持つこと。（職人 なるには○「△社・□□年）」 	<ul style="list-style-type: none"> ・すし職人としての誇りを感じた。
---	------------	---	--

F	調べたが情報を得られなかったことも空欄にしておき、どのように調べればよかったのかを振り返ることができるようにしよう。		
G	2 伝えたいことがきちんと伝わるように、必要な情報を絞り、説明する順番を考えよう。		

テーマ（題名）	「必要な情報」と「説明する順番」	伝達内容
すし職人について	<p>① ↓</p> <p>A ↓</p> <p>② ↓</p> <p>B ↓</p> <p>③ ↓</p> <p>E ↓</p> <p>④ ↓</p> <p>C ↓</p> <p>⑤ ↓</p> <p>D ↓</p> <p>⑥ ↓</p>	仕事内容・収入・やりがいなど

自分が決めた題名をここに入れる

自分が話すことを大きめに書けばよい。